



かさ い こう
笠井 洸

生年月 1991年7月秋田県生まれ
最終学歴 2016年豊橋技術科学大学
修士課程
業務経歴 2016年(株)竹中工務店入社
名古屋支店設計部主任
●担当した主なプロジェクト
2018年 ビーチバレー屋内練習所(作)
2019年 愛知製鋼 厚生会館
2020年 愛知製鋼 保安棟
2024年 某技術研究所改修
2025年 東海理化 音羽寮・体育館

■青年技術者のことば

建築は心身の健康に関する芸術という言葉が心に残っている。そんな芸術をつくりたいという気持ちで建築設計に向き合っている。建築は、人や土地、環境とのつながりを切り離すことはできない。その場所特有の条件を読み取り、必然性の延長線上で一つのかたちを落とし込む。そこに唯一の価値と美しさが生まれると考える。一方で、建築作品のあるべき姿は、美しさだけの造形、合理性を求めた技術的解決、そのどちらでもないと思う。建築設計者は、デザインとエンジニアリングの間に立つバランス感覚が大切だと感じている。建築における豊かさの本質はいつの時代も同じで、これからも変わらない。けれども時代によって求められる価値観や感性、空間やディテールは変わり続けている。変わりゆく世界の中で必要なこと、求められていることを考えていきたい。

■すいせん者

水谷考治
(株)竹中工務店
名古屋支店設計部 設計部長



東海理化 音羽寮・体育館 — 企業と地域、みんなでシェアする社員寮

自動車部品メーカーの社員寮建替。隣接敷地にある工場の社員、職業訓練校の学生、社会人公式野球部員が住む社員寮と、地域開放も想定した体育館を一体的に計画した。アプローチ側には食堂・体育館・桜並木のパブリックガーデンを配置し、70mの軒下空間によってひとつながりとなるオープンエンドな構成とした。軒下空間を抜けた先にはかつての寮の基礎・擁壁をアップサイクルした寮生専用屋外スペース・菜園を設けた。企業と地域の新たな関係性が生まれ、開かれた社員寮のおおらかな風景が広がる。